

腹膜透析導入の手術と手技指導を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後する事がありますのでご了承ください。わからないことがありますら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

主治医

説明看護師

月日	/	/	/	/	/	/	/	/ ~ /	/ ~ /
	入院日 手術前日	手術当日 前	手術当日 後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4~6日目	術後7~9日目	術後10~12日目
目標	手術を受ける準備ができる。	術後の安静を守ることができます。	発熱がなく出口部と創部に異常がない。 排液性状が問題なく、腹膜透析を行うことができる。 痛みがコントロールされて動くことができる。 腹膜透析の手技を習得することができます。						自宅の準備が整っている。 退院後の注意点がわかる。
処置	お臍をきれいにします。 肺塞栓予防のために着用するストッキングのサイズを測ります。 弾性ストッキングをはきます。 メガネ、入れ歯、貴金属類ははずします。	朝6~7時に浣腸をします。 心電図モニターを装着します。 適宜、血圧、脈拍、体温を測ります。 腹膜透析カテーテルが留置されています。	酸素吸入をします。 酸素吸入は終了です。 午前中に腹膜洗浄をおこないます。	午前中に透析液 500ml をお腹の中に5時間ためて、その後お腹から透析液を出します。	午前中に透析液 1L をお腹の中に5時間ためて、その後お腹から透析液を出します。	腹膜透析を1日4回(6時・11時・16時・22時)行います。 ・術後4日目 1L の透析液 ・術後5日目~ 1.5L の透析液 創部の確認をします。			退院前に抜糸をします。
点滴	手術室で点滴をします。 手術が15時以降になる場合は病棟で点滴をします。		朝食が食べられたら点滴は終了です。						
お薬	普段飲んでいるお薬を確認します。お薬とお薬手帳を持参してください。 21時に下剤を飲みます。	朝、指示されたものだけ内服します。		抗生剤の内服が始まります。 持参薬の内服については医師から指示があります。(※中止のままの場合もあります) 痛みが強く我慢できない時は痛み止めの内服があります。					退院処方がある場合はお渡します。
検査		血糖値の測定、インスリン注射を行う場合があります。	採血 レントゲン		採血 レントゲン		(術後7日目) 採血 レントゲン		
食事	夕食まで食事がとれます。 以降は何も食べないでください。 水分の制限はありません。	食事や水分をとることはできません。 うがいはできますので看護師にお伝えください。	食事や水分をとることはできません。 うがいはできますので看護師にお伝えください。	朝から水分と食事がとれます。					
安静度	制限はありません。 	手術後はベッド上安静になり、起き上がるることはできません。体の向きの調整などは看護師にお知らせください。	術後の経過が問題なければ、歩行できます。 初回は看護師が付き添います。	制限はありません。 術後の合併症予防と回復をすすめるために歩くようにしましょう。					
排泄	蓄尿をします。	排便があったか確認します。	手術中に尿の管が入ります。排便はベッド上で便器を使用します。	尿の管を抜きます。 退院まで蓄尿を続けてください。 					
清潔	シャワー浴をします。			温かいタオルで体をふきます。 歩行して問題なければ、弾性ストッキングを脱ぎます。	創部を保護してシャワー浴ができます。	創部に問題がなければ、何も保護しない状態でシャワー浴ができます。 			
説明指導	看護師から必要物品、入院生活のこと、手術後の経過について説明します。	手術後、主治医からご家族に手術経過の説明があります。 痛みや吐き気などの症状がある場合は、我慢せずに看護師にお知らせください。	看護師がおこなう腹膜洗浄を見学します。 【説明内容】 □手洗い方法 □清潔と不潔の区別 □透析を行う環境	説明を受けながら腹膜洗浄をおこないます。 【説明内容】 □排液性状の正常と異常の見方	【説明内容】 □透析液の捨て方 □PDノートの書き方	【説明内容】 □カテーテル出口部と皮下トンネルの観察 (写真を撮ります)	腹膜洗浄の一連の手技の自立を目指します。 【説明内容】 □シャワー浴の方法 □腹膜炎の症状 □カテーテル汚染時の対応方法 □災害時の対応	□自宅での必要物品 □	
その他	外来で手術同意書を記入していない場合は、入院後に医師から説明があります。 身体障害者手帳の申請ができるようにソーシャルワーカーが介入します。	ご家族の方は手術予定の1時間前に病棟へお越しください。 貴重品等はご家族に渡してください。	手術後はご家族の付添は必要ありません。	通常通りの面会時間にお越しください。 ★ CAPD または APD どちらかの選択ができます。 腹膜透析患者さんは、退院後に訪問看護を毎週火曜日に受けることができます。 訪問回数は退院後1か月以内で5回までです。 退院前にご案内をしますので、わからないことなどあれば医療スタッフにお尋ねください。			退院までに管理栄養士から栄養指導があります。 	午前中に退院です。 退院の書類を受け取ってから手続きとなります。 入院費の概算が必要な方は、退院前日16時までにお申し出ください。	



退院後に腹痛や38°C以上の発熱、透析排液に濁りが出たときは、外来へ電話でご連絡の上ご相談ください。